

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年1月7日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年1月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【組織改編に関する実施計画記載の誤りについて】 当社社員が実施計画の文書を確認中、組織改編により廃止された「社長直轄のソーシャル・コミュニケーション室」の記載があることを確認。 今後、記載内容の修正に向けた調整を進めるとともに、原因調査および対策を検討。	G II	12月28日
2	【増設多核種除去設備(C)クロスフローフィルタ用仮設連続ダストモニタの異常について】 当直員が増設多核種除去設備(C)クロスフローフィルタ用仮設連続ダストモニタから、振動と異音を確認。 調査の結果、原因はトランジットボルト(※)が共振していたことによるものと判明。 トランジットボルトを取り外し、振動と異音の解消を確認。 ※トランジットボルト: 輸送中の機械器具の一部を固定するためのボルトであり、運転に影響を与えるものではない。	G III	12月29日
3	【6号機 計装用空気系除湿塔の動作不良について】 当直員が6号機 計装用空気系除湿塔(A)から(B)への切替運転中に、「除湿塔切替不良」の警報が発生したことを確認。 調査の結果、原因は除湿塔切替用のコントロールタイマー駆動部の動作不良によるものと判明。 今後、コントロールタイマー駆動部の点検修理予定。 現在、除湿塔(A)を運用しており、系統機能に影響なし。	G III	12月30日
4	【既設多核種除去設備(A)デカントタンク入口配管からの漏えい痕の確認について】 当直員が既設多核種除去設備(A)デカントタンク付近で滴下痕を確認。 調査の結果、デカントタンク入口配管溶接部に漏えい痕を確認。 漏えい痕部分の拭き取りおよび袋養生を実施済み。 今後、当該配管を交換予定。 現在、既設多核種除去設備(A)は作業停止中であり、系統機能に問題なし。	G III	1月4日
5	【6号機 使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)の本体ベントラインの詰まりについて】 当直員が6号機 使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)の本体ベントライン弁の1個を開としたが、水が出ないことを確認。 調査の結果、当該ベント弁および配管の詰まりと推定。 今後、当該ベント弁の分解点検およびベント配管の清掃を実施予定。 他の本体ベント弁2個については健全で、水が出ることを確認しており、ベント機能に影響なし。	G III	1月5日
6	【増設多核種除去設備一時貯留タンク堰内の水中ポンプA-1の自動起動水位検出用計器の動作不良について】 当直員が増設多核種除去設備一時貯留タンク堰内に設置の、水中ポンプA-1が自動で起動しないことを確認。 調査の結果、当該水中ポンプは手動で起動できたことから、自動起動用の水位検出用計器の動作不良と推定。 今後、当該計器を修理予定。 水中ポンプは他に3台設置してあるため、雨水移送に問題なし。	G III	1月5日